

職員インタビュー 『県のシゴト、私のユメ』

Staff Interview



気になるシゴトのコト聞いてみたよ!!

行政

県民が暮らしやすい・住み続けたいと思えるような県づくりに貢献したい



山田 萌絵
東濃県事務所
H30年 採用 健康福祉政策課
R 2年 現所属

入庁前と入庁後のギャップはありましたか

入庁前は、各分野における様々な施策を前へ前へ推進していく仕事を想像していましたが、入庁後は、行政運営事務や会計事務等の組織として動いていくための「縁の下」的な仕事も多く、重要であると感じました。行政の業務は幅広いですが、担当する仕事によって、新しいもの見方や考え方を身に付けることができることも魅力であると思います。

一番印象に残っている仕事を教えてください(前職含)

現所属1年目で経験した、令和2年の大雨災害対応です。東濃地域で避難情報が発令されている間は、係で交代しながら24時間情報収集を行い、変化する気象状況や次々入ってくる情報を整理しながら、今後の対応方針について市や県本部と相談するなど、対応中は緊張状態が続きましたが、職員一丸となって対応したこの経験は次の災害対応に活かすことができる貴重な経験だったと感じています。

困難な事例があったときにどうやって解決されましたか

まずは、資料等を基に情報を整理し、自分なりに解決の道筋を考え、上司に相談して判断を仰ぐようにしています。一人で抱えた状態のままだと「どうしたらいいだろう」と不安な気持ちになることも多いので、そういった時はできるだけ早めに周りの人や上司に情報を展開するように心がけています。相談しやすい雰囲気のため、困難な事例はチームで対応するという安心感があります。

今後実現したい夢はなんですか

所属している組織を超えたコミュニケーションや人間関係づくりも大切であると感じています。今後は、様々な人と関わり、新しい知識を学びながら、県民が暮らしやすい・住み続けたいと思えるような県づくりに貢献したいと考えています。

福祉

一人でも多くの県民の皆様福祉のために貢献できる人材になりたい



稲葉 貴史
中央子ども相談センター
H30年 採用 西濃子ども相談センター
H31年 現所属

岐阜県庁を志望された動機を教えてください

大学では教育関係を専攻していましたが、大学卒業後は別分野の仕事に就きました。しかし、子どもと関わる仕事をしたいと思い転職を決意しました。その後、一時保護所専門職、小学校講師などの仕事を行う中で、子どもや子育て中の大人により近くで支援する仕事をしたいと思い、岐阜県庁の福祉職を志望しました。

現在の仕事内容を教えてください

中央子ども相談センターは岐阜県を所轄する児童相談所です。私は家庭支援課に所属し、児童福祉司として児童心理(心理職)と一緒に家庭への支援や提案、指導を行っています。子どもやその保護者に対し、家庭が抱えている問題について、関係機関と連携しながら相談・支援を行っています。児童虐待対応件数は年々増加しており、幅広い専門性が求められる業務ですが、ケースワークを通して日々学ぶことができ、やりがいがあります。

困難な事例があったときにどうやって解決されましたか

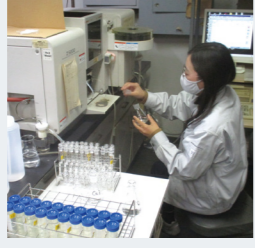
家庭が抱える問題は家庭によって様々で、「この家庭にはどんな支援ができるんだろう」と悩むことがあります。児童心理司が子どもの特性に合わせたアプローチを中心に考えてくれるため、児童福祉司として家庭への支援・提案を行っています。そのため困難事例は心理司とよく相談し合い、私たちが今できることを考えています。また、経験豊富で相談できる先輩や上司に近くで支えて頂ける環境であるため、悩んだときには相談を行い、助言を受けることができます。

今後実現したい夢はなんですか

福祉の現場で多くのことを経験し、1人でも多くの県民の皆様福祉のために貢献できる人材になることです。

農学

農業者の方に必要な支援ができるよう様々な業務に取り組んで経験を積みたい



熊崎 真由
岐阜農林事務所
H29年 採用 農産物流通課
H31年 飛騨農林事務所
R 3年 現所属

入庁前と入庁後のギャップはありましたか

農業技術に関する支援や試験研究だけではなく、補助事業などの事務手続きや、県農業の現状を把握するための基礎調査の実施、イベントの企画・運営など、様々な業務があります。同じ農業分野でも、所属によって仕事内容が大きく異なることに驚きました。

一番印象に残っている仕事を教えてください(前職含)

最初の所属である農産物流通課では、県下でも大きなイベントである農業フェスティバルの運営に関わりました。わからないことばかりの中、先輩方に助けられながら、一緒になって取り組んで、なんとかやりきることができました。

働く環境についてはどう思われますか

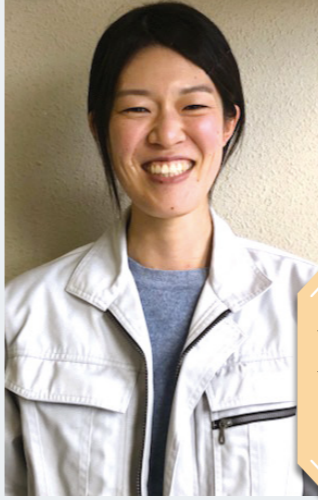
私自身は利用したことはありませんが、先輩方が子育て等に合わせた勤務時間の変更や、夏季の朝型勤務なども活用しているのを見て、様々な働き方ができるのだと思います。忙しい時期には残業が続くこともありますが、上司の方も気にかけてくださり、安心して仕事ができます。

今後実現したい夢はなんですか

農業者の方が必要とする支援が何なのかを見極めて実施することが大切だと思います。今の私にはとても難しいことだとも感じています。そうした力を身につけられるよう、今後様々な業務に取り組んで経験を積んでいきたいです。

森林科学

安心して仕事を任せてもらえるような技術者になりたい



脇谷 すみれ
郡上農林事務所
H29年 採用 可茂農林事務所
H31年 飛騨農林事務所
R 2年 現所属

入庁前と入庁後のギャップはありましたか

学生の頃学んだことを生かしたいと志望しましたが、学んできたことは、県職員として働く上で必要な、林業の現場から木材利用、木育、治山や保安林などの知識のごく一部でしかなかったのだと感じました。しかし、全く役に立たないわけではなく、森林の現状や取り巻く課題を知っていることはベースとして生きていると思います。

現在の仕事内容を教えてください

主に林道開設工事の設計、監督を担当しています。設計書を作成して発注し、受注者と協議しながら工事を進めています。なかなか設計書どおりにいかないことが多く、それぞれの現場の条件に合わせた林道づくりをすることが求められるため難しい点もたくさんありますが、上司などにアドバイスをもらいながら仕事を行っています。

仕事とプライベートをどのように両立されていますか

休日には、近くの観光地や、仕事で通りがかかって気になった場所などに行ってみることが多いです。林道に限らず、地図を見て通ったことのない道を行ってみたりすると、県内にも自分の知らないところがたくさんあるのだと感じます。また、職場の仲間と一緒にスポーツを楽しむこともあり、仕事のしやすさにも繋がっています。

今後実現したい夢はなんですか

先輩方に学びながら経験を積み、知識を身につけて、安心して仕事を任せてもらえるような技術者になりたいです。よい林道をつくることで、岐阜県の林業や地域振興の役に立てたいなと思います。

土木

「あの事業があつて地域が守られた」という声が聞きたい



井藤 宏紀
美濃土木事務所
H26年 採用 美濃土木事務所
H29年 恵那土木事務所
R 2年 河川課
R 3年 現所属

岐阜県庁を志望された動機を教えてください

幼少のころから川の近くに住み、川に親しみがありました。また、同時に豪雨も経験し、その怖さも学んできました。親しみも怖さもある川について、もっと身近に触れ合うことができ、もっと安心できる川づくりを地元である岐阜県で行いたいと思うようになり、河川の整備等を行い、地域の方々とも密接に関わる岐阜県庁を志望しました。

岐阜県の技術職員として働く魅力を教えてください

岐阜県の土木技術職員は、普段通っている道や親しみのある川など、常に私たちの生活の身近にある社会基盤の整備や維持管理を担っており、事業計画の立案や、工事の発注から完成まで一連の業務を担当することができます。昔は通りにくかった道、危ないと言われていた川などの改修に携わることができることに魅力を感じます。

働く環境についてはどう思われますか

公共事業に携わっていく中で、自分一人では解決できないことが必ず出てきますが、知識が豊富な先輩職員が多くみえるため、わからないことがあればすぐに聞ける環境で、決して一人でものごとを進めていくのではなく、チームで進めていける環境だと思っています。

今後実現したい夢はなんですか

県土づくりは、小さな事業でもその積み重ねがいつか地域の方々の安全・安心な暮らしにつながると感じています。自分の仕事を一つ一つでも多く積み重ね、いつか「あの事業があつて地域が守られた」と聞ける日がくるのが私の夢です。

建築

必要な経験を積み、多くの建築の知識を身に付けられるよう、頑張りたい



古田 侑里
岐阜・西濃建築事務所
H31年 採用 建築指導課
R 3年 現所属

岐阜県庁を志望された動機を教えてください

大学で建築を学ぶ中で、将来も建築に携わる仕事をしたいと考え、行政は様々な分野で建築に携わることができると思い、岐阜県庁を志望しました。実際、行政の建築職は、建築基準法等の法令の指導や、営繕、住宅政策など業務が多岐にわたっていました。現在は法令の指導業務を行っているのですが、これからの異動等で違う方面から建築に携わっていくことが楽しみです。

現在の仕事内容を教えてください

主に都市計画法に基づく開発許可と建築物の確認申請の審査を行っています。実際に審査を行った物件の完了検査や、空き家や違反現場の調査等で外に出て業務を行うこともあります。また、建築士や事業者の方からの相談等の電話や窓口対応の多い職場でもあります。

働く環境についてはどう思われますか

現在の業務は法律や条例を理解していないとできないため、業務を行う中でわからないことがあったり、判断に迷うことがあります。しかしそんな時は上司や周りの先輩が丁寧に教えてくださるので、とても仕事がしやすい環境であると感じています。また、仕事の調整は必要ですが、休みが取りやすい職場なので、プライベートも充実できると思います。

今後実現したい夢はなんですか

今後様々な業務に携わる中で、建築の技術職員として必要な経験を積み、周りの先輩のように多くの建築の知識を身に付けられるよう、頑張りたいです。